山 750-2007·11·20 (第三種郵便物認可)

日本山岳会への提言

昇

という枠のなかで精一杯活動して

まの自然体にまかせるとい

、う選択

がある。

現会員が、

日本山岳会

行く末である。

まず第一にこのま

クラブライフを楽しめばよいとい

動を続けている。 とても示唆に富む内容だったので、整理してもらい再録した。 常任評議員による「日本山岳会の行方」という提言が掲載された。 東海支部は、 全国の支部のなかでも独自の方針のもとに、 その『東海支部報』No111号の巻頭に、 活発な活 尾上昇

日本山岳会の現状と選択肢

声 いうあり方が理想であろうか。 戸が喧しい。 ところ日本山岳会の将来を憂う これからの日本山岳会は、 現在の会員の平均年齢は、 どう 65 Z 歳

である。

会員のうち20代はたっ

数が、 は老人クラブと呼ぶ。さらにその 割ることになろう。これを世間 に達する。 すると、 るという。このままで4年が経過 の19名である。 数年前から減少に転じて 会員の平均年齢は、 会員数も5000人を 会員 70歳 13

さらには、 という行為が世間と乖離するなら 取り戻すであろうという期待感で に回帰してきて、 えよう。そのうちに、若い人も山 を登る団体なのだから、

なかには山

岳会は、

あくまで山 山を登る

会希望者のほとんどが、

中高年で

しいように思える。なぜなら、

る。 も聞く。 消えることも止むなしとい ささか自暴自棄とも思われる発言 アルピニズム終焉論であ う、 11

らざるを得ない 先を考えると、

暗澹たる気分にな

さて、これからの日本山

岳会の

均衡型ということになる。 バランスを保たせながら時期を待 財務内容や組織を余りいじらず、 て言葉で表現するならば、 これらを具体的な運営指針とし 現状を維持させるという縮小 現在の

ようという動きは以前からある。 員の入会資格のハードルを高くし は、この考えにも疑問が残る。 を高めようという意見がある。 できる今のシステムを改め、 資格をコントロールし、会員の質 かし、 さらには、この際、 現状を見れば実現性は乏 誰でも入会 入会 私

いし、むしろ充実しているともい 比較しても、決して見劣りはしな

登山界も活気を

こういう会員が多い。

確かに今の 他の団体と

岳会の活動状況は、

うものである。

聞いてみると結構



2007年(平成19年) 11 月号(No. 750) 日本山岳会 The Japanese Alpine Club 定価1部 150円 URL http://www.jac.or.jp e-mail@jac-room@jac.or.jp

目 次

日本山岳会への提言	
登山文化の継承とネイチャー	
クラブへの転進1	
第23回全国支部懇談会開かれる・・・ 5	;
国際山岳連盟とアジア山岳連盟	
総会、国際山岳自然環境会議、	
松本で開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	;
資料映像委員会の活動と今後の課題・・8	3
第11回全国山岳博物館等連絡	
会議、松本市で開催・・・・・・・・)
活動報告1	
資料映像委員会/図書委員会/	
二火会/アルパインフォトクラブ	
支部だより1	2
青森/山梨/東海	
図書紹介 · · · · · · · 1	4
会務報告 · · · · · · · · 1	6
ルーム日誌1	7
図書受入報告1	7
会員異動1	8
INFORMATION · · · · · · 1	8
さんけん通信1	9

まして、若い入会希望者があっ

続的に実践しているとは思えない あり、その中高年が、 からである 目指している質の高い登山を継 日本山岳会

の感を免れない。 しても、縮小均衡政策は、じり貧 議と言わざるを得ない。 疑わしい。もっとも現状では、 度な登山を実践しているか大いに に近いのだから、これは虚しい論 たとしても、そのうちの何割が高 人の入会希望者が限りなくゼロ いずれに

照らせば、現代の日本の若者に山 そうものなら、たちまち拒否反応 を登って下さいとお願いするのは が返ってくるであろう。この論に る。若者に、そんなかけらでも示 ないと死ぬと思っているからであ てしまうであろう。 行為であると思っている。そうで 土台無理な相談ということになっ 私は、山登りはかなり求道的な

公益法人化へ 再生の舵取り

摘する人も多い。会勢、すなわち 意見である。私の意見でもある。 らないという再生派ともいうべき 活性化に一層力を注がなければな 来は暗い。従って、組織の存続と らこのままでは、日本山岳会の将 ミズムと会員数に比例する。だか 組織の活力は、組織の持つダイナ 同様に憂慮すべき問題であると指 数の減少は、若者の山岳会離れと 一方で、数は力なのだから会員

だけではあるまい。 は消してはならないと思うのは私 承でもある。だからこそ、その火 日本独自に進化した登山文化の継 よう。日本山岳会の存続は、この に育んだ百年の登山文化だといえ 岳会の百年とは違う。日本が独自 日本山岳会の百年は、 他国の山

ないであろうか。 切り変える時期に来ているのでは 目指すなら、その方向転換の舵を 会の存続と将来のさらなる繁栄を はあるが、どうやら日本山岳会も、 ある。時には、頑な姿勢も必要で 組織存続には、避けて通れぬ道で 取り巻く環境や状況への順応は 時代は刻々と変化する。 時代を

ものなのである。本当に山登りは 身で体現し、次への高みを目指す

と思わず口

これまでは会員の減少と若者離

明確化など認定基準のハードルは

成し得る多くの要素を含んでいる。 山に登っている人たちだからこそ クではない。この森づくりの会は、 何も山登りだけがパイオニアワー 森づくりの会がその典型である。 づくりの会や、東海支部の猿投の

見直しや、

公益事業と収益事業の

である。そのうえで、会計基準の の基本に据えているかが最低条件 公益的な事業を、いかに多く活動

れて知るものではない。 頂した時の感動は、

山は、

山と対峙し、果敢に山を攻め登

人から教えら

をついてしまう。 素晴らしいのになあ、

> らない。公益法人制度改革への対 らない大きな問題が発生してきて 方で現在、日本山岳会の置かれた 応である。 いることを念頭に置かなければな 立場を根底から見直さなければな れについて述べてきたが、 もう

5年間ある。 執行の猶予期間が2013年まで は、2008年末から施行され、 ることになったのである。新制度 法人や社団法人も併せて見直され 対応のための法的整備が急務とな 近年NPOが激増し、それらへの 公益法人制度改革というの その枠組みの一環として財団

現在、日本山岳会が公益社団法人 は言うまでもない。 としての存続を目指していること 法人の方が、はるかに優遇される。 **遇の差である。もちろん公益社団** 言うと、この差は、主に税制の優 益社団法人に分けられる。端的に 社団法人は、 公益社団法人に認められるには 一般社団法人と公

もない。

ければならないことは、

言うまで

も視野に入れて、

指針を策定しな

の拡大に向けての動きが始まって

すでに日本山岳会には、

公益性

いる。本部の進めている高尾の森

森のフェスティバル State State

たっては、 特別委員会が判断するという。 告に基づき、内閣府に設けられた 高い。この公益法人化は、 日本山岳会の今後を考えるに当 この公益法人制度改革 自己申

2

立派なパイオニアワークである。

旅行の斡旋までやっていることだ。

アメリカ、ドイツ、 カナダの例

与えている。 神は、 もいわれ、活動は多岐にわたって 立されている。会員の総数は、 ネバダ山脈の自然保護を目的に設 団体がある。 いる。その基本となる自然保護精 メリカだけで70万人とも80万人と メリカの環境政策にも強く影響を アメリカにシエラクラブという 今も脈々と受け継がれ、 1892年、 シエラ ア T

ろは、 ラヤにも登山隊を派遣しているし 口 ッジ経営やトレッキング、 シエラクラブのおもしろいとこ 自然保護活動のほか、 ヒマ 一般



2004年10月、スペシャルオリンピックで入道ヶ岳登山

きる ているが、JACを自然保護団体 と思う。 どの入会金を払えば誰でも入会で 主である。 である。資金源は会費と寄付金が 護活動をその基本スタンスに置い 山岳会の将来を導くヒントになる またクライミングサークルもある 私は、 各種の研修会や講習会も活発 シエラクラブは、 このシエラクラブが日本 日本円で5000円ほ 自然保

に鞍替えさせようというのではな

身である ことに興味を抱く人をすべて、 するのである。こと山を介在する JACのネイチャークラブへの変 で、活動の素材は限りなくある。 に関わることをすべて綱羅するの 員として受け入れるのである。 シエラクラブの運営をお手本に 会

る

ある。 会はスポーツ団体であると宣言し 会である。 にクライミングボードを設置した の打開策としてドイツ国内の各地 もう一つ例がある。ドイツ山 時期低迷に悩んだが、 会長自ら、 なんと会員数74万人で たちまちにして若者を ドイツ山岳 そ

> は、 ている。 純にスポーツ団体と位置づけるの ークラブがよい。 少々乱暴であろう。ネイチャ まさか日本山岳会を、 単

立である。 のではなく、日本の山岳環境を保 に譲るが、 にするのである。もっと進めて登 単なる登山の技術や知識を教える 険学校や自然教室を開くのである。 入る。海洋少年団の向こうを張っ の健全育成への取り組みも視野に 次から次へと夢は膨らむ。青少年 日本山岳会の活動を俯瞰すれば、 山学校の設立である。理想は、 護、保全する目的を持つ教育機関 ネイチャークラブという観点で 山岳少年団でも結成して、 私自身、 紙面の都合で別の機会 強い思いがあ 冒 玉

愕然としたことに始まる。 りにも違う日本のそれとの格差に の山岳環境に取り組む姿勢と、 ダを訪れた時に感じたカナダ政府 カナダでは、国立公園の管理責 この登山学校構想は、 以前カナ 余

ボルになっている。 で呼ばれている。絶大な権限を持 任者はワーデンという特別な称号 っていて警察権まで付与されてい 青少年憧れのステータスシン

AGE」である。カナダの素晴らし 語 い自然を未来永劫孫子の代まで相 がある。「CANADIAN HERIT カナダ政府の自然環境を守る標

も大いに責任がある。 があろう。 クとなる政治力も備えておく必要 重要視されよう。それには、 行政に物を言う存在という姿勢も を示してこなかった私たちの側に になるのだが、これまで余り関心 これは、行政の責任ということ これからは バッ

とは、雲泥の差を感じる

日本の国立公園法とその管理姿勢 いう強い決意が込められている。 続財産として継承させるのだ、と

教室への講師派遣も多くの支部員 放送局が主催しているカルチャー 幼稚園児を対象とした親子登山教 強化されなければならない り組む事業の一つとして、大いに ティア活動は、 が協力している。 室の指導である。また、 ィア活動に積極的に取り組んでい いま、 障害を持つ人への支援登山と、 東海支部では、 公益法人として取 これらのボラン 新聞社や ボランテ

みる。 ポーツクライミングを例に取って 次に、フリークライミングやス いま、 日本山岳会がしかる

200人の若者は、 件も整えなくてはなるまい。 やすいように、JACへの入会条 時競技会の開催が可能な設備が整 ること、 であろう。ただし、インドアであ たら、たちまちにして100人や ライミングボードを設置したとし べき場所に、現状にふさわしいク っていることの三つの条件は必須 若い人たちがより利用し 国際基準であること、 集まってくる

る。 転が迫られる。少なくとも常に、 グボードが併設されたルームであ ングルームを備えた、クライミン る集会室が必要である。トレーニ が必要となってくる。 頻繁となり、 さまざまな分野のサークル活動が これらが現実味を帯びてくると、 グループ以上が集うことのでき 集会を開催する場所 ルームの移

ネイチャークラブへの転進

いう自然を、 日本の国土の60㍍を占める山岳と イチャークラブの発想の原点は、 進を進言したい。そして、このネ ナリオにネイチャークラブへの転 未来永劫継承させることにあると 改めて、日本山岳会再生へのシ 日本人の遺産として

いうことである

芸術などの探求。やることは際限 よい。 がない。 ととして自然保護活動、青少年 ウォッチング。こと山や自然に関 技術の修得や実践のほか、各種の を孫子の代まで残す」というこの ケービング、クライミング、 アウトドア活動も含まれなければ る。これこそ公益の真骨頂である 「この美しい日本の山という自然 の学術調査や研究。文化、歴史、 わることすべてである。当然のこ ならない。スキー、スノーボード、 言を、定款に書き加えるのであ)啓発運動、医学や自然科学分野 キング、キャンピング、バード この目的達成のためには、 組織の目標や運営は単純なほど 日本山岳会の目的のなかに トレ 登山

生は、夢ではないと思う。 ら寄ってくる。会員の総意と知恵 楽しいから集まる。 そこからは、必ず新しい魅力が生 そこに属する者のすべてが集中し が結集されれば、日本山岳会の まれるはずである。組織の魅力こ た時のパワーは、凄い。併せて 新しい目標と新しい夢の実現に、 組織の繁栄の源である。人は、 おもしろい か

勢を紹介したが、

実のところ、 この際、

聞

きかじりである。

各国の

政府の自然に対する取り組みの姿

ラブやドイツ山岳会の例、

カナダ

最後に提案

―。私はシエラク

ご批判を賜りたいと思っている。

拙論への会員諸兄姉のご意見、

支部活動について

はおもしろいもので、本部機能が らでも例がある。 組織の崩壊であり、 部(トップ)が腐ると末端も腐る。 なパワーとなって届く。逆に、本 れば、その影響は末端にまで大き 充実して活動が常に活性化してい 心配していない。組織というもの 私は、支部活動については余り 世の中にいく

それは不可能なことであり、 もし、本部が支部の活動をコント の意味を理解しなければならない。 んでいる。ブランチではないこと 山岳会は、支部をセクションと呼 日本山岳会はクラブである。日本 意見がある。私は、反対である。 の自主性を重んじるならやっては 組織の本社と支社の関係である。 人事、そして事業計画のすべての ロールしようとするなら、予算と ならないことだと思う。 面倒を見なければならない。会社 部に支部の独自性を否定する 支部

向が定まり、それに向かって動く である。できれば会員の総意で方 ろ論ずるのは、大いに結構なこと のが理想である。会員一人一人が Ш 岳会の行く末を会員がいろい

るものである。

ろうか。

設置の検討を強く希望す

問委員会でも設けたらいかがであ

事情を調査研究する会長の特別諮



剱岳に登った東海支部友会員山行

関心を持って、

大いに議論を闘

わ

せてほしい

平山順子アルパ演奏者 (岩手支部会員)

聖さにふれた。

堪

散策コースも、

焼走り溶岩流裾

全国 懇談会開かれる

菊池修 身 (岩手支部長

催された。 Ш とサブタイト 治の歩いたイー のく岩手・八幡平 北は北海道から南は九州宮崎 岳会第23 П ルをか 全国支部懇談会が開 ハトー -の麓で かげて、 ブの山 「宮澤賢 日本 Þ ま

秋晴れ

0

10月6日と7日

みち

行事でもある。

それだけに

開催支

年に1度行なわれる日本山岳会の とができた。全国支部懇談会は、 って、 で200余名の各支部会員が集ま 親交を深め旧交を温めるこ

親睦、 会も、 歴史と今後の方向を探る、 中高年登山愛好者の多い今の 部として、 かな懇談会となった。 とともに、 たのではないかと自負している。 登山界にあって、 創立100年の歴史をもつ山 融和の流れに進んでいる。 時代の経過、 未踏の調査、 その役割を一 日本山岳会の 会員の高齢化 部果たせ 探検から さわ 日本

語られた。 会長) 棲んでいたという、 明 あやし 山に対する畏敬の念を持っていた。 17 と作品のつながり、 演された亀井茂氏 提示された。続いて「宮澤賢治と ら今後の山岳会のあるべき方向 イーハトーブの山々」と題して講 白」と題して、 講演会は は、 15 山男や見目麗しい 山さありがとう」賢治は この 宮澤賢治の歩いた山 「日本山岳会の今日 山さ、 宮下秀樹会長 (宮澤賢治の会 心象につい 北上山系の 登っても 山女が 7 4 が か 13

第23回(社)日本山岳会全国支部懇談

ース 理で盛りあがり、 より出発した。 を温めつつ会は過ぎていった。 明けて7日は好天のなか、 へと分かれて松倉温泉登山 (源太ヶ岳)、 親交を深め旧 Bコース (姥倉 A コ 交 口

トメ を 雲上の散歩道である。 はハイマツ帯からなり、 方面や東方の岩手山に続く山 太ヶ岳から大深岳にいたる尾根筋 (1541㍍)の東肩にあたる。 Aコースの源太ヶ岳 は、 望できる。 走路のほぼ中央部、 八幡平と岩手山を結ぶ裏 遠く八幡平 1545 さながら 大深岳 並 源

複合火山でもある。 は、 のとは違 風にあおられながらも写真で見る ら林を通り稜線に出たときは、 紅葉に彩られた岩手山 きる格好のポイントとなってい グルとして、最も間近から展望で 能 ともに松川温泉から3時間 Bコースの姥倉山 してもらえたようである。 岩手山を直線状に望めるアン た方向からの岩手山 (1545×1) を仰ぎな 程度 強 が を

> 端まで行った。 裾を少し紅葉させた岩手山が頂上 野の中央部をほぼ30分歩いて最下 の溶岩流の特異性も感じてもらえ まですっきりと姿を見せ、 焼走り溶岩流では この地

調高いアルパ演奏で始まり、

会場

親睦会は岩手支部会員による格

は談話とお酒、

前沢牛を使った料

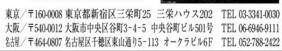
遺跡へ行った。 縄文の生活を偲ぶことができたと 遺跡で、 縄文時代中期後半の大規模な集落 縦穴住居跡が確認された。 ぶ広大な台地から600棟以上の その後一 6万5000平方沿に及 戸 町に この御所野遺跡は ある御所野 まさに

REK

個人手配旅行から人気のトレックツアーや エクスペディションのアレンジまで。充実 度が違う「旅」のブランニングをこころがけ ています。山旅などあらゆるジャンルを取 っています。お気軽にご連絡ください。

株式 アトラストレック

(国土交通大臣登録旅行業1167号)





たと思う。

国際山岳自然環境会議、松本で開催国際山岳連盟とアジア山岳連盟総会、

席国は日本から日本山岳協会

神﨑忠男

国際山岳連盟(UーAA)年次総会去る10月3日から7日にかけて、去る10月3日から7日にかけて、ア山岳連盟(UAAA)総会が、ア山岳連盟(UAAA)総会が、ア山岳連盟(UAAA)総会が、ア山岳連盟(近路本市が市制100周年を記念して誘致したものだった。ちなみに今年は国際山岳連盟創立ちなみに今年は国際山岳連盟創立ちなみに今年は国際山岳連盟創立がら40周年にも当たり、また日本が国際山岳連盟に加盟した1967年から40周年に当たる節目の年の開降となった。

盟が編成されている。 100の加盟団体から構成され、 国際山岳連盟は現在、約80ヵ国、

一昨年のカナダ総会で、本来の国際山岳連盟とスポーツ・クライミング競技委員会の分離が決まり、その後始末と整理、そして今後、目際スポーツ・クライミング協会国際スポーツ・クライミング協会のように歩むのか課題を助かえての松本での総会開催となかかえての松本での総会開催とない。

の離脱による各国でのオリンピック組織委員会とのつながりにおいク組織委員会とのつながりにおいク組織委員会とのつながりにおいす。60名の出席のなかで討議された。00名の出席のなかで討議された。なお新会長のマイク・モーティなお新会長のマイク・モーティなお新会長のマイク・モーティスト国の登山家を表彰することにスト国の登山家を表彰することになった。

とで筆者が表彰された。 LT Tyrレスト女性初の登頂者と Mapine News』の発行者として中 Alpine News』の発行者として中 特保氏、そして20年にわたる国際 対保氏、そして20年にわたる国際 は、そして20年にわたる国際 は、まなび『Japanese は、まるで、まるで、まるで、 は、まるで、まるで、 は、まるで、まるで、 は、まるで、まるで、 は、まるで、まるで、 は、まるで、まるで、 は、まるで、まるで、 は、まるで、まるで、 は、まるで、まるで、 とで筆者が表彰された。

総会も開催(UAAA)松本アジア山岳連盟(UAAA)松本

もある日本の議長進行で開会。出連盟総会が開催された。会長国で続いて10月7日は、アジア山岳

のである。 が、日本以外の国で高まりつつあ った。紆余曲折ののち、1994 992年の国際山岳連盟松本総会 韓国山岳会(CAC)など12団体 WAF)、中国登山協会(CMA)、 MA)、日本勤労者山岳連盟 を日本が果たすべきだという気運 岳連盟設立の要望が出された。当 ール、パキスタン、イランなどか ちなみにアジア山岳連盟は、 アジア山岳連盟が設立された アジアの登山界で指導的立場 日本が中心となってアジア山 韓国、中国、中華台北、ネパ ĵ

選ぶなど、次期役員も改選された。会のアンツェリン・シェルパ氏を会のアンツェリン・シェルパ氏を

ウェルカム・パーティでは、松本市ならでは催しもあった

連盟が理事に新任された。会員として在籍、日本勤労者山岳会員として在籍、日本助労者山岳

地自然環境体験観察会の開催松本国際山岳自然環境会議と上高

れた。 国際山岳自然環境会議」が開催さ 連盟の松本総会にあわせて、「松本 この国際山岳連盟、アジア山岳

主催はアジア山岳連盟自然保護 委員会で、日本山岳会(JAC)、 香山岳連盟(JWAF)、日本ヒマ ・ 日本山岳協会(JMA)、日本勤労 ・ 日本山岳協会(JMA)、日本勤労

境連絡協議会が主管した。 護委員会で構成された山岳自然環 A)、トイレ協会の七団体の自然保 A T プログラムは、 東京都山岳連盟 第一、 T セ M

主題は、 ショ 本、 Ö ンは「温暖化」をテー 発表がなされた。 ネパール、韓国からレポ セッション・テー 次のとおりである。 マ会議 マに、 0

デ

ショ

ンの二つに分かれ、

第

セッ

② ネパールからの報告 研究所長代表理事) 肴倉孝明氏 (農学博士・山岳環境 が報告

①日本からの報告

温暖化と雷鳥の生態につい

7

なくてはならない。

たとえば、

湖

んだ事実がある。

暖化による影響を報告 て、 温暖化と氷河地形の変貌 ヒマラヤの氷河や氷河湖 アンツェリン・シェ ル パ氏 と題 0

ものだった。

用本部長の具吉本氏が発表 韓国における国立公園 と題して観光山林庁・ の報告も興味深いものであ の自然保 山 0 利

0

3

韓国からの報告

しよう。 氏の 実なもの 氷河 特にアンツェリ でもあ 地 形に関する報告は、 n ン・シェ 簡単に紹 ル

第

セッション・

情報会議

セッ

ショ

ンは別室で開 岳連盟総会が終わ

か

n

地球の温暖化によって、

氷河

り

各国の山 たアジア山

岳団体の代表者が環

7

が決壊 その後の観光客激減につながり、 住民に打撃を与えるだけではなく、 氷河湖の崩壊は直接、 るおそれがある。 に依存している割合が高いだけに あ 財源に大きな痛手になる。 Ĺ ネパー 洪水に見舞われ ネパール ルは観光 実 0

境会議に合流して始まった。

そこ

変化を遅らせる方策をうってい 多くの下流の住民を溺死に追い込 1985年にはクーンブ地方 ィグ・ツォという湖が決壊し、 だからこそ気候 か 成果をあげて終了した。

威に対処する必要がある、 社会と連携して、 構築する必要がある。 を設けたり、早期警告システムを の水位を下げるために排水の設備 地球温暖化の 今後も国際 とい

で影響が及ぶ現実に、 容に盛り込まれ、 えられなかったことなどが発表内 けられたといえよう。 参加者は、 私たちの知らなかったこと、 容赦ない現 人々の生活にま 約100

> 護委員会から活動報告と、 えての国際環境会議は予想以 などが話され、 ルのパンフレット作成に伴う実例 岳環境マナーに関するマナー 語 る活動報告がされた。 0 でアジア各国の山岳団体、 ボランティア活動グル 槍ケ岳山荘の穂苅康治氏 中国語、 韓国語、 地元の人たちも交 日本語の 1 自然保 日本で から英 プによ 主の ŧ ラ

上高地自然環境体験観察会

松本国際山岳自然環境会議

0

大日岳の事故と事件 北アルプス 斎藤惇生 編/A5判/190頁/1995円 大日岳の雪庇崩落事故がなぜ事件になったのか。有為の少壮弁 護士が事件の核心にせまり、雪氷学の権威が巨大雪庇の構造を 世界にさきがけて明らかにした、リーダーの必読書である。

ヤブ山登山のすすめ 三訂

〈 2007年刊行の好評図書 〉

著/四六判/244頁/1890円 高木泰夫 樹林の山旅が楽しめる奥美濃――春は屋根の残雪を踏んで頂上 新緑萌える頃は白やピンクの花が咲く道を愉しむ。

五百澤智也山岳図集

五百澤智也 著/B5 判/144 頁/2940 円 ヒマラヤと日本の山や氷河の細密鳥瞰図・展望図・地形図、ア ルプスの山と氷河のスケッチ、日本の氷河地形分布図と列島地 貌図など192点を掲載(カラー63点、2色刷33点、解説付)。

日山荘往来

著/四六判/308頁/2625円 日本の登山とスキーの発展を側面で支えた「好日山荘」 著名な岳人たちの交流の逸話と、登山用具の変遷の歴史を語る。

〒606-8161京都市左京区 Tel. 075-723-0111 ヤ出版 Fax. 075-723-0095 乗寺木ノ太町15 http://www.nakanishiya.co.jp/ 〔表示価格は税込〕 際山岳自然環境会議を終了した。 現地懇親会に変更された。 会の山岳研究所 地に入ったものの中止。 自然解説を行なうはずだった。 好家のメンバーがボランティアと おうと、 地で実施された。 1 環として、 して参加、 にも上高地の自然を堪能してもら しかし、 キングによる自然観察会が上高 松本市民と共に親子自然体験 こうして2日間にわたる松本国 日本山岳会の自然保護愛 当日は強い雨で、 英語を交えて上高 翌日 0 山 アジアの人たち 10月8 研 日本山 Ĕ の厚意で 上高 地 地 岳 0)

委員会紹介

資料映像委員会の活動と今後の課題

各委員会の活動や課題、 山岳会には現在 (07・08年委員会名簿による)17の委員会がある。 抱負などを中心に紹介してみたい。

発足の趣旨と全員での活動を目指

資料委員会は1976年に発足

受け入れ基準を制定し、台帳整備 態であったそうだ。その後、資料 るようになった。現在、学芸員1 会の文化事業を行なう委員会とし は寄贈があれば受け入れていたた 会を発足したと聞いている。当時 事務所の移転に伴い、 者数名を含む合計20名から成る。 より活動範囲を広げることができ に、お互いのメリットを活かし、 て生まれ変わった。この統合を機 ルムビデオ委員会」を統合して、 に力を入れてきたということだ。 ように管理する必要が生じ、委員 る資料の存在が不明確にならない 03年に「資料委員会」と「フィ 資料の整理が追いつかない状 映像と写真のプロ、IT関係 保管してい

> で行なっている。この態勢はそれ 課題への取り組み た委員会であると自負している。 率直な意見交換のできる、開かれ 会では活発な討議が交わされる。 代という幅広い年齢層だが、月例 あげている。委員は、 かつ合理的であり、大きな成果を ぞれの得意分野を充分に活かし、 40代から80

課題に取り組んでいる。ひいては 模索・提案・活動しながら、その 伴い、管理スペースやコストなど 介したい。課題は資料数の増加 課題と、その取り組みについて紹 未来の山岳会へ向け、最適な管理 万法を確立したいと考えている。 収蔵資料については、資料の背 問題が発生していることである。 次に、資料映像委員会の抱える

把握し、資料価値が忘れさられな 対策の一つとして、収蔵資料の公 いような活動を進めていきたい 限られたスペースでの管理や態 (展示や映画会)を行なっている。 資料と人とのつながりを

に充実させていきたい。 開催している。回を重ねるごとに 博物館等連絡会議(9≦~参照)を る。対策の一つとして、全国山岳 あり、理事会でも議題にし、回答 ろう。コストが発生することでも る。絵画については特に必要であ 産価値を公平に評価する必要があ は、専門の鑑定士に依頼をし、 物館に寄託していく。そのために 持つ資料価値を研究し、専門の博 大きな成果をあげているが、 を出してもらう必要があると考え さら 資

せている。 プロジェクト・ じなければならないものもあり、 収蔵資料の中には早急に対策を講 進まないというのが現状である。 指導を受けながら進めている。 を行なう。これは現在、学芸員の かし、諸々の事情から思うように 絵画やフィルムなどの劣化対策 チームの頭を悩ま

> 的に資料整理のできる態勢も整 900点ほどに及ぶ。また、定期 りデータ化を終えた収蔵資料数は 在まで、過去の手書き資料台帳よ より明確にすることができる。 これにより収納スペースを最小に つつある。 資料のデータ化作業を進める。

と今後の抱負 統合のメリットを生かした新企画

勢への取り組みとしては、個々の

かけてDVD化の作業を行なった。 5回の講演会記録をまとめ、 報『山』で報告している。さらに 訪問取材も行なった。いずれも会 どの参加者を得た。また、3名の この講演会には、延べ650名ほ 回シリーズの講演会を行なった。 明期の登山……それぞれの山」5 年から05年にかけて「語り継ぐ黎 ットを生かしたもの。これまで03 ィルムビデオ委員会」の統合メリ る。これは「資料委員会」と「フ と映像の記録・作成を行なってい の歴史を担ってこられた方々の声 を行なう予定である。 近日中にこのDVDに関する報告 新しい取り組みとして、 山 2年

そうだ。「ゴミ集め委員会」のイメ 委員会」と言われた時代があった かつて資料委員会は 「ゴミ集め

り4~5名でプロジェクトを組ん

くという態勢作りも必要ではない 諸先輩の指導を受け、継承してい 現状である。資料に精通している

景が正確に伝承されていないのが

作業や活動は、

自薦・他薦によ

貢献していきたいと考える。 えながら、 動を続け、 地道に文化事業の柱となるべく活 員で取り組んできた。これからも ージを払拭すべく、ここ数年、 会員の文化意識向上に 登山文化の重要性を訴 全

場・博物館同士のネットワークを

第2回以降は

また、

場

岳専門の博物館と情報交換の

第1回会議を開催した。

主旨は、

ご支援、ご協力をお願いし、 るために、全員でがんばっている 会の紹介としたい。(奈良千佐子) 委員会である。さらなるご理解と 先輩の築かれた登山文化を継承す 資料映像委員会は、これまで諸

るごとに参加館も増え、

趣旨に沿

回を重ね

た成果をあげてきたといえよう

ツ博物館でも開催した。

飛鳥山博物館、

秩父宮記念スポー

所を移し、東京都写真美術館、 主に山岳会本部で開催。 作ることであった。

、北区

を迎え、

アルプス公園の大改修を 松本市は市制施行百周年

新

第11回全国山岳博物館等連絡 松本市で開催

然博物館」として4月にオープン

しいコンセプトで「松本市 山と自 行なった。アルプス山岳館も、

したため、

必見の価値があるなど

要因から松本開催が計画された。

斎藤各委員が出席した。

羽田委員長、

溝口・田畑・

本山岳会からは鯵坂青青副会長、

997年に上高地山岳研究所にて |山岳博物館等連絡会議は 1



ーアルしたばかりの「松本市山と自然博物館」の前で

会議の概要と話題 10月開催を決定。 原各学芸員と打ち合わせを行ない 行して準備を進めた。 メールを駆使し、 て詳細を打ち合わせた。 委員が「松本市山と自然博物 4月に羽田栄治委員長と、 を訪問。 丸山館長、 開催準備につい 東京と松本で並 その後は 窪田・小 2名

れた。 は初参加館である。 10月20日、13時から17時まで「松 山と自然博物館 参加館は15館18名で、 参加館を紹介 にて開催さ 4館

> 冒険館 物館 紅陽写真美術館 (山梨)、*富士山 術館館長 (山梨)、* 松本市立博物館(長野)、松本市山 秩父宮記念スポーツ博物館(東京) 財団法人立山カルデラ砂防博物館 館(長野)、田淵行男記念館 美術館 資料館(群馬) 資料館 (静岡)、*みなかみ町山 と自然博物館(長野)、元河口湖美 しよう(*印は初参加)。 (富山)、富山県立山博物館 (兵庫)、 奇石博物館(静岡)、*岡 (東京)、市立大町山岳博物 (長野)、植村直己冒 財 植村記念財団·植村 の各館である。 財 池田 石の博 (富山) (長野) 険館 町 H 立

までとは大幅に変わり、 応答があった。各館共通の課題と 慮していることであっ しては、指定管理者制度 て報告があり、 各館から、 導入による博物館の運営が今 本年度の活動につい それについて質疑 (注記参

例として、 るための意見交換がなされた。 については、それぞれの館が有す 「博物館力」をパワーアップす 博物館活動のあり方や進め方等 ①学校の授業の一環と

> して、 おり、 いる、 た。 を実施している、 ②体験的事業が求められて 博物館での学習を実施して 動植物の学習として山歩き などがあげられ

階に展示してある。 日本山岳会からの寄託資料はこの は山岳関係の展示となっており、 きるのは新しい試みである。 向けの展示で、遊び感覚で見学で は松本の自然を中心とした低学年 市 山と自然博物館」を見学。 続いてリニューアルした 松本

ある。 大きい。他にこのような会議はな 換の場として、当会議への期待は ているなど、博物館同 力して企画展を既に幾つも実施 裏に終わった。また、 市で実施した。当初の心配をよそ 員会をあげて尽力していく所存で いということであり、 今年は初めて東京を離 過去最高の参加館があり成功 館同士が協 今後とも委 士の情報交 れ

度。 株式会社をはじめとした民間法人 まで地方公共団体やその外郭団体 にもさせることができるという制 に限定していた公の施設の管理を、 注記)指定管理者制度とは、それ

動

報

告

各委員会、同好会の 活動報告です

日本山岳会の

牧潤一氏寄贈のマナスル三山

(料映像委員会

牧潤 マナスル三山の絵画 一氏より寄贈

のマナスル三山を描いたもので、 ナスル、 された。バグルンパニから望むマ 三山」をテーマにした絵画を寄贈 て、会員の牧潤一氏が「マナスル 山岳会創立100周年を記念し ピーク29、 ヒマルチュリ

世界各地を取材。

現在、

日本山

世界百名山」を描くことを念願に

てきたが、

1972年以降「自選

た個展やグループ展を多数開催し

125tx×55txの額装された作品

牧氏は、

これまで山を主題とし

画協会代表幹事を務めている。

描かれたものだという。 ーム入口正面に展示させていただ 寄贈された作品は10年ほど前に 現在、 ル

羽田栄治

図書委員会

第17回山を語る アルピーズムの源流

さんを招いて、 年記念出版としてA・F・ママリ カサス登攀記』 ーの歴史的名著『アルプス・コー 10月中旬に『岳人』の創刊60周 今回は訳者である海津正彦 ママリー(マンメ の改訳版が出版さ

> リー を語ってもらうことにした。 訳するにあたって苦労した点など ている「ママリー頌」を取り上げ んは、まず、本書冒頭部分に載っ クライミング事情、 10月26日の19時に開会。 のこと)の人となりや、 ひいては翻 海津さ

当時

あり、 学』という経済学書を上梓してい 学者のJ・A・ホブスンと交流 ンの書いた「ママリー頌」 る。その本の共著者であるホブス 済学にも多大な興味を示し、 てアルプス登山を楽しむ一方、 営みながら毎夏、 んは強調していた。 ったらしい、ということを海津さ から、学究の徒としてのママリー 性格的に見てまったく変わらなか 7 登山家としてのママリーとが、 マリーは家業の皮革鞣し業を 2人の共著で『産業の生理 長期休暇を取 の記述

れがホブスンの解釈なのだそう 象化し、理論化する性癖があり(そ 受け取るには、 るという。 いわゆる「ママリズム」の表出と て」に話が飛び、この章をもって 登山がもたらす歓びと罰につい また、そこから、 ママリーには物事を抽 いささか無理があ 同書の最終章

> と罰…」の章は、ナンガ・パルバ だ)、そこから見て、この いか、とのことだった。 ふさわしい論文ができたのではな の時にこそ「ママリズム」と呼ぶに 成の文章に練り上げただろう。 き直して、もっとしっかりした構 難死しなかったら、 マリーがナンガ・パルバットで遭 た、覚書のようなもので、 ットへ出発する前に急いでまとめ あらためて書 … 歓び もしマ そ

うになったのだろう。 ママリーが旗手として扱われるよ 数々の先鋭的な登山家のなかで、 …」の章があることで、当時のク に、アルプス銀の時代を生きた 本書の資料的価値を高めると同時 方の傾向などがうかがえるため、 ライマーの判断基準や心情、 ただ、本書にこの「…歓びと罰 考え

たせていた うし、さらには山中でやたらシャ くなるとランタンを残置してしま 夜中の12時前後に出発して、 ゼンはもちろん、 ハーネスやピトンを用いず、 な登攀スピードや、 その他、当時の登山者の驚異的 現代の登攀との違いを浮きだ ンを飲んで景気づけする話な 雨具も持たず、 ロープ1本で 明る

や地図、 なり、 なり、 づいて、 えないことなど、本音の発言がつ なったこと。翻訳家といっても収 をやめたとき、英語文献を読破し 話は次第に座談会のような形式と 詳しく翻訳家でもある田村俊介さ 担当した小泉弘さん、カフカスに 担当した大森久雄さんや、 ていたことが役立って、 をきっかけに英語に親しむように また、海津さんが登山文献の渉猟 かな会となった。 入面から言えばとてもプロとは言 などから見て、大変に割安なこと んなども出席していたところから 今回は訳者のみならず、 その後、サラリーマン生活 この本が翻訳の質や、 いつもとひと味違う和や 年表の挿入、荘重な装幀 (松澤節夫) 翻訳家に 装幀を 編集を

バ る

二火会

10月山行報告 高旗山・明神ヶ岳

線三鷹駅前から一路東北道を北上 俊和会員の案内で高旗山と明神ヶ 続き会津の山で、会津在住の江花 名を乗せたマイクロバスは、 岳に登った。10月15日、 一火会恒例の秋の山は、 参加者16 昨年に 中央

> たという伝説があるのがうなずけ 家が奥州征伐のおり、 や猪苗代湖が眼下に見える。源義 はさすがに眺めがよく、 頂に着く。一 くぐって、 小体な宇奈己呂和気神社の鳥居を 登りはじめて45分後、 さっそく高旗山の登山口に向かう。 源田温泉で江花俊和会員と合流 して郡山へ。12時には予定通 12時35分、登山口からゆっくり 96825の高旗山の山 等三角点のある山 軍旗を揚げ 頂上直下の 安積平野 頂

松沢荘に到着して旅装を解く。 津盆地の夜景が美しい高台にある 旧跡を訪ねた。そして18時頃 の地・戸ノ口原古戦場、 安積疎水十六橋、会津白虎隊奮戦 そって江花会員の案内で、天鏡閣 スで会津盆地に入り猪苗代湖に 13時45分に下山開始。 強清水などのご当地の名所 赤井谷内 その後は 会

にかかる。途中、

会津三十三観音

りして10時15分、 ている参道をたどり、 あった。雑木林の中、 う狭間峠に着いたのは9時15分で 柳津を結ぶ街道の要衝だったとい の奥の院を経て、 16日8時、 かつては会津高田と西山 明神ヶ岳の登山口を 107425の明 急登をひと登 よく踏まれ 伊佐須美神

き秋の訪れが少し遅れているが、

今秋は9月に入っても残暑が続

ここで江花会員と別れる。

る高田の伊佐須美神社に立ち寄り

宿に戻って汗を流してから帰路に り道して、登山口に戻る。バスで の二十七番札所の大岩仁王寺に寄

つく。途中で延喜式にもある奥州

二ノ宮、

明神ヶ岳に奥の院を構え



恒例となった秋の山行、会津・明神ヶ岳山頂にて

な柴田初子会員が同行され、 また、米寿を迎えられてお元気

松島岳生

一緒

山行だった。

なく、豊かな秋の収穫に恵まれ

に2つの山頂に登られたこともう れしい便りになった。 第15回山岳写真展 アルパインフォトクラブー

で、盛況のうちに終了した。 ツ谷の「ポートレートギャラリー が開催された。場所は、新宿区四 クラブの写真展「心に映る山々」 たちの同好会・アルパインフォト 日間、 9月26日より10月8日までの 山の写真に魅せられた仲間 13

残念ながら眺望が得られず、

神ヶ岳の山頂に着く。

山頂からは

山の大きな山塊も雲に隠れている。

記念写真を撮り、10時35分下山

900名ほどであった。 ズ (約45セン×56セン) に伸ばし、 果として過半数の作品を全紙 撮影技術も年々向上した。その成 の来場者に見ていただいた。 ら、山岳自然の素晴らしさを多く ど約50点である。これらの作品か を飾った。13日間の来場者は約 展示作品は、四季を彩る日本の 同展は、今回で15回目を迎え、 氷壁をまとった世界の山稜な 会

羽田栄治

皆さんは道々山の幸の採取に余念

なら茸などなど、参加された

むかご、萱の実、みずの

全国各地の支部から、 それぞれの活動状況を 北から南へとリポート します。

日神山地ブナ林再生事業

再生事業を行なった。 今回、弘前駅集合一番のりはP 9月22~24日、白神山地ブナ林

され、 林道のゲート到着。津軽白神森林 和田、むつ市からの参加者と合流 さんをはじめ、鯵ヶ沢、青森、 環境保全ふれあいセンターの青山 に向け出発。10時20分頃に奥赤石 バスで来た中田さんに電話で起こ た。寝坊した筆者は東京から夜行 ての責任を自覚した高橋毅氏だっ L (プロジェクトリーダー) とし しかし、八戸から来るはず なんとか8時過ぎにゲート

する。 氏が来ない。待つこと1時間、 ィングを行ない、 ント場に向かう。昼食後、ミーテ っと姿を現わした。 のHAT―Jの一行と青森の中村 あたふたとゲートを施錠し、テ 作業班を決めさ

> 当した。 部長、2班長は三橋氏、 する。食事は高橋PLと筆者が担 鈴木氏、4班長は鹿内氏にお願 っそく作業開始。 1班長は下山 3班長は

ることが出来た。 込みのなか、素晴らしい星空を見 は言うまでもない。明け方の冷え とても食べきれない量だ。例によ のモツ煮、鹿内氏の蛸などが並び、 高橋PLのおでん、小川副支部長 って、夜遅くまで歓談が続いたの 夕食はいつものカレーに加えて、

の再生事業のあり方などについて、 で飽食のかぎりをつくした。今後 けであった。 この日にテント泊したのは8名だ た人たちで作業を行なう。 森の観察へ向かってもらい、残っ せっかくの機会なのでクマゲラの らの参加者は昼で下山するとの事。 ても食べても減らず、この山 23日、好天に恵まれる。 昨日の夜の鍋が、 八戸 か



った参加者

13時過ぎにゲートで解散。 くれた。12時過ぎテント場撤収、 ンターの諏訪さんが来て、 夜遅くまで話が続いた。 われが手に余したスギを片づけて 24日、午前中作業。ふれあいセ 昨日我

いたい。 学校等への働きかけを早めに行な ためにも、やはり中高生や大学生 など若い人が必要だ。 来年6月は は過去最高だったと思う。今後の 今回の参加者は23名。平均年齢 (須々田秀美)

山梨支部

第48回木暮祭 木暮理太郎翁を偲ぶ木暮祭は、

> 山梨県山岳連盟·日本山岳会山梨 碑前祭実行委員会(増富観光協会・ 平で開催される。 玉町の瑞牆・金峰山麓にある金山 毎年10月第3日曜日に、 支部が共催)の主催のもと、今年 で48回目を迎えた。 翁の碑前祭は、 北杜市須

あり、 輝くなか、 山・金峰山が透明にまぶしく光り れた。まじかにそびえ立つ瑞牆 間ばかり早いが、この秋初めての した。 快晴無風、日本晴れのもとで催さ 山参加者など総勢50名ほどが参列 本年は10月21日、 錦秋を迎えるにはまだ2週 山岳関係者、 猛暑の影響も 瑞牆山

年は第50回という節目であるので が語られた。特に再来年、平成21 34年の台風により現在地に碑を移 献花のあと、献杯し、まず観光協 負けない祭にしたいとの抱負を述 かけて、上高地のウェストン祭に 地元はもちろんのこと全国に呼び 転したことなど、当時の思い出話 第1回碑前祭のときのこと、 周囲の白樺がまだ小さな林だった 会の八巻恭介会長が挨拶された。 山岳連盟の献酒、 日本山岳会の

つづいて、三枝昌彦岳連副会長

者や紅葉狩り、きのこ狩りの人々 好天にも恵まれ、各地からの登山 どについて語りかけた。 陽二郎岳連名誉会長(支部評議員 深沢健三JAC支部委員長、 自然と実りを、思う存分味わうこ で久し振りに賑わっていた。 山や金峰山とその周辺は、 をご馳走になった。この日の瑞牆 物の美味しい「きのこほうとう」 観光協会で用意していただいた名 がそれぞれ、翁の足跡を紹介し、 「山の憶ひ出」や奥秩父の山と谷な 祭典後は場所を広場に移して、 最高の

(古屋寿隆)

とができたようだった。

晴天に恵まれた第48回木暮祭 素を計算し、森づくりに寄付した ンオフセット(炭素相殺)」があり、 資金援助する方法として「カーボ 化炭素の削減のための森林保全を のは、森林と海である。この二酸 ている。二酸化炭素を吸収できる による温暖化が大きな問題になっ ものだ。現在、二酸化炭素の増加 さを知ってもらおうと企画された 民に森づくりのフィールドを公開 た。このフェスティバルは一般市 くりの会代表の橋村一豊が挨拶し 自分の結婚式で発生した二酸化炭 会員の紹介をするなど、 挨拶の内

猿投の森づくりの会 「森のフェスティバル」開催

民や会員など約220名が、 特設会場を見守った。 の間に腰を下ろし、小沢の対岸の 新聞による予告などで応募した市 投の森で開催された。後援の中日 が、10月6日、愛知県瀬戸市の猿 を演奏する「森のフェスティバル イコフスキー」の「交響曲第五番 た森の中でオーケストラが「チャ 初秋のコナラやヒノキに囲まれ

まず、主催者である猿投の森づ 多くの人々に自然環境の大切

> 評を得た。 容は参加市民のアンケートでも好 ずりの中で昼食をとった後、

者からは手拍子がわき上がった。 番の演奏は、ほの暗いクラリネッ う幻想的な雰囲気の中、 の男子生徒による「東海学園交響 拍手とアンコールの声に答えて 壮麗な結末で終わった。さらに、 の優美でしなやかな旋律が続き、 トの演奏で始まり、第二楽章以下 チックな作品として知られる第五 フスキーの交響曲の中でもロマン 「雪山賛歌」の演奏がされ、 演奏したのは、東海中学・高校 小沢のせせらぎと木洩れ日とい チャイコ 参加

楽団」の50人。 演奏の後、セミの声、 鳥のさえ



ラが交響曲を演奏 森の中でオ ーケスト

のフェスティバル」を成功裏に終 山岳会の公益的事業としての「森 があるなど、登山以外の分野での 終了後には十数人から入会の希望 関係などについても質問があり、 市民からは、 草花の説明を行なった。参加した とめ、第一次森づくり地域を中心 ーは森づくりの会の会員10名がつ の観察会に出発。インストラクタ 約20人の6グループに分かれ、 了することができた。 約1時間30分にわたり樹木や 山岳会と森づくりの

瀬戸市、 た。事故に備え緊急用の車を準備 の駅からはシャトルバスを運行し には簡易トイレが設置され、 には8回にわたる準備会議、 会員の努力を必要とした。 大遠征隊を出すに匹敵する準備と る演奏会を行なうという企画は、 聴衆の参加したオーケストラによ ら離れた森林の中で二百数十人の なお、今回の企画は、 裏話であるが、今回の市街地 連絡用に衛星電話を使用した。 (財)イオン環境財団、(社) 愛知県、 具体的 現地

小川

します。

の後援をいただいた。

記して感謝

国土緑化推進機構及び中日新聞社

~~~

凶書紹介



読む愉しみ』 大森久雄・著

2007年 9 月 平凡社刊 四六版 238分 定価 2310円

山の旅

の結果、全体を一貫するテーマの の結果、全体を一貫するテーマの の結果、全体を一貫するテーマの の結果、全体を一貫するテーマの の結果、全体を一貫するテーマの の結果、全体を一貫するテーマの

> では、山と本と人が織りない。 では、山と本と人が織りない。 では、山と本と人が織りない。 では、山と本と人が織りない。 では、山と本と人が織りない。 では、山と本と人が織りない。 では、山と本と人が織りない。 では、山と本と人が織りない。 では、山と本と人が織りない。

日本の山からアルプスまでも視野に入れた山岳書の軌跡を俯瞰し、出登りでは、山と本とが、他のスポーツの記録とは異なった、もっと濃密な「同じ家族」の関係をなと濃密な「同じ家族」の関係をなから引かれた趣深い文章をとおして示されている。

著者が編集に携わった深田久弥の『日本百名山』についても、人の『日本百名山』についても、人の『日本百名山』についても、人の『日本百名山』についても、人の『日本百名山』についても、らとする。深田久弥は、日本人のうとする。深田久弥は、日本人のうとする。深田久弥は、日本人の自ら登り見つめた山と山登りの姿自ら登り見つめた山と山登りの姿を表現している。そこからは、ア

て取れる。 とを結ぶ日本の山登りの系譜が見仰登山から今日の大衆化した状況 「静かに山を楽しむ」山登り、信

昨今ブーム的な様相を呈していいが、山と人との関る「百名山」だが、山と人との関係が変化してきている現在、山も人の前に別の顔を見せている。ならば、今の時代にあった新しい「百名山」の読み方が求められてくるらば、今の時代にあった新しい「百名山」の読み方が求められている。なるは変化してきている場合である。

そこから、新たな山の見方と登り方が見えてくる。それは、次の時代と文化を創り出す動きへとつながっていく。そのような山と本と人による営みに参加することこと、山を楽しむことであり、著者自身の実践でもあると理解できそうだ。

なお、本書に記載された戦前かれわれが確認しておくべき出版が況の記録として、きわめて有意状況の記録として、きわめて有意が記ものであることも言い添えておきたい。

(飯田年穂)

て愚かになり切れたとしたら、

まとまりを備えた味わい豊かな

『アルプ 特集 串田孫一』山口燿久/三宅修/大谷一良・編



が 0 m7 2007年7月 山と溪谷社刊 A5版 349分 定価 3360円

てきているかもしれない。 ことすら知らない若い世代も増えかつてそういう山の雑誌があったがアルプ』が終刊して既に24年。

徹する心構えが出来たら、 です」。そして「社会生活に加わっ 向かって誇らしく登って行くこと となります。愚かで貴重な存在に た時には愚かな人間が貴重な存在 ます。そして賢い人間が増えて来 かに賢い人間と愚かな人間とがい てもいますが、 分のうちに賢さと愚かさとを持っ れる。串田はこう言う。「人間は自 度読み返す必要があるように思わ 述べた最後のメッセージをもう一 が「遠い未来の山人に」と題して だが、あるいはだからこそ『アル い今日では仕方のないことだろう。 山に向かう若者そのものが少な (300) 号で串田孫 見渡してみると確

題が登山、

博物、

本書の魅力はこの日記の全文が

11

て、

編者の奥山直司らはチベッ

国境越えの際の慧海の行動

0

されている。

いずれも串田の著書

タイトルであり、

この4つの章

『アルプ』は形の上では一つの時 『アルプ』は形の上では一つの時 『アルプ』は形の上では一つの時 は、終刊に当たって、知恵が暴走 は、終刊に当たって、知恵が暴走 し、人間が自然との深い関わりを をいつつあることへの警鐘を鳴ら すと同時に、山登りという無駄で すと同時に、山登りという無駄で 見ぬ若者への希望を託しているこ 見ぬ若者への希望を託していることを忘れてはならない。

『アルプ 特集 串田孫二』は『アルプ』の事実上の代表であった串田孫一と深く関わった「63人の魂の交歓」(帯)であり、その中には意外な人物も登場し、串田を巡る星辰の賑やかさを感じさせる。 内容は「山の章 智の鳥の囀り」、「自然の章 季節の手帳」、「芸術の章 季節の手帳」、「芸術の章 季節の手帳」、「芸術の章

ではないかと想像している。という串田世界を提示している。中田孫一像を描くことが出来たのはたといえる。願わくば、もっとけたといえる。願わくば、もっとけたといえる。願わくば、もっとけたといえる。願わくば、

(粕谷俊矩

ヤ・チベットの旅』『河口慧海日記――ヒマラ『河口慧海 奥山直司・編



2007年 5 月 講談社刊 文庫判 314分 定価 1102円

経てチベット入り、 31日まで、 マナサロワ湖をめぐってシガツェ、 たのだ。 ラサの中間の村までの行程がこの である宮田恵美氏が提供したもの は2004年末だった。慧海の姪 貴重な日記の存在が公表されたの 記によって明らかになった。 やはりこんな克明 1900年3月10日から12月 河口慧海のチベ ムスタンからドルポを 西チベット な日 記があっ ットでの

掲載されたこと、かねて河口慧海に深い関心を持って現地を歩いたに「河口慧海研究プロジェクト」に「河口慧海研究プロジェクト」を立ち上げ、日記の記述をもとにを立ち上げ、日記の記述をもとにかられたこと、かねて河口慧海

は、 どの記者に口述した速記録をまと 慧海が帰国した直後、 時新聞などに掲載された。 ていなかったためか、 地名など固有名詞をほとんど出し まりに面白かった反面、 めたものだからだ。その内容があ ット入りそのものを疑う論調 有名な慧海の『チベット旅行記』 1 9 0 3 独特の語りの文体でできて (明治36) 時事新報な 河口のチベ データ、 年5月、 が当

河口はそれらの中傷と正面からで書き綴った日記があったが、そで書き綴った日記があったが、それは持ち出さなかった。
注目されたのは、慧海がネパー
注目されたのは、慧海がネパー
がらどのように、どのルートで
チベット入りしたのか、である。
『チベット旅行記』ではぼかされ
ていて、ひとりで越えたとしか書
かれていない。

であったろう。これは『旅行記 ら集団の移動がわかってしまうヤ しゃべってしまったため、 記者たちに「ひとりで越えた」と にひとりで国境の峠越えをしたの 慧海は『旅行記』の記述にあるよう 可能な限り読み取ろうとした。 を得てその部分を紙の裏表からス があることに着目、 H を読む上で重要なことである。 う、慧海が考えぬいた上での「嘘 行の協力者に難がふりかからぬよ と奥山は推測する。チベット潜入 クの字を塗り潰したのであろう、 ではなく、ヤクを使って移動する ったことが重要なヒントとなった。 読不能部分がほとんどだったが、 キャニングし、デジカメで撮影し ト国境に達する7月4日と前後の 行に紛れて国境を越えたのだ。 記にかなりの「塗り潰し部分」 所蔵者の許可 日記か

の経緯を詳しく書いてほしかった。 の経緯を詳しく書いてほしかった。 の経緯を詳しく書いてほしかった。 の経緯を詳しく書いてほんかの の経緯を詳しく書いてほんかった。 の経緯を詳しく書いてほんかった。

(江本嘉伸)



平成19年度第6回(10月度)理事会

日時 19年10月10日 18時30分~

場所

日本山岳会会議室

【出席者】宮下会長、鰺坂·神﨑各

理事、斎藤・藤井・石橋・古野・ 副会長、吉永・宮崎・成川各常務

任評議員、神長会報編集委員長 太田・堀井・相馬・山川・岡部各 深川・竹中各監事、 近藤常

議事録署名人1名として、 【欠席】日下田·河野各常任評議員 本日の議事をまとめるにあたり、 藤井正

善理事を選任した。

主催=環境省、 日出、会場=日本消防会館ニッシ ウム「美しい日本の自然 1 · 名義後援依頼:環境省 自然公園法50周年記念シンポジ ホール開催 開催日時=10月13

> ンユニオン 2・映像使用許可願い:テレビマ (承認)

NHKニュース「日本人初のエヴ ラスカ・マッキンリー植村直己編 ェレスト登頂」の植村直己の映像 放送番組=世界ふしぎ発見、「ア

東京映像社 3 · 名義後援協力依頼:株式会社

(否決)

小田急百貨店「芳野満彦展」

【報告事項

落ちているので督促等の対策を考 1.平成19年度上半期財務報告 会費収入について収入率が若干 (吉永)

当理事は表を深く読んで適切な指 事業と予算の乖離が無いよう各担 えている。 導をお願いしたい。 支出状況は順当に推移している。

> 3・クビ・カンリ 2・"公益社団法人化プロジェク を行なっている。 ジェクトチームで検討、 化のメリット、デメリットをプロ トチーム検討事項 報告 (吉永 公益社団法人化及び一般社団法人 今後1年半ぐらいかけて検討 6721 1

> > ¥348, 000

初登頂(宮崎)

した。 隊」は07年9月14日初登頂に成功 | クビ・ツァンポ源流域学術登山

典・祝賀会報告(宮下会長 4 · 韓国山岳会創立62周年記念式

る登山事情に大いに刺激をうけた。 式典・祝賀会に招かれ出席した。 宮崎・吉永各常務理事) 情について案内をうけ、活気のあ (参加者:宮下会長、神﨑副会長、 韓国山岳会ルームと韓国登山事 ソウル市で9月14日開催の記念

5 · 日中韓 3 国学生交流登山 称)計画(宮崎・吉永 仮

登山協会に日中韓3国学生交流登 春の開催を目標に準備を進めてい 山を提案し、賛同を得たので88年 韓国訪問時に韓国山岳会・中国

6 · 日本大使歓送迎会案内 駐ウズベキスタン兼タジキスタ

年始企画 〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-8山内ビル4階

3437-8848 E-MAIL

7・新入会員のオリエンテーショ 行なわれた。 全権大使の歓送迎会が9月28日に ン特命全権大使・駐ネパール特命

各理事に出席要請 10月20日出開催、 山岳会集会室。

図展2007in富山」案内 8.剱岳測量100年記念募金 地

9.平成19年度 成研修の参加者募集 休開会式の案内があった。 地図展推進協議会より10月18日

依頼があった。 財国際緑化推進センターからの

10 ム会議案内 H 本ヒンズ 1 クシ ュ 力 ラ コ

が あっつ 11月18日、 京都にて開催 0 案内

11 の調査について 文部科学省からの 公益法人が 行なう共済 (吉永 調 查。 済

当なしの 正で金融庁管轄になっ 損保保険 共済事業を行なってい 報告をした。 (全国200) た。 な で 11 当会は 0 0 法改 で 該

在ネパ 変更について 登山規則の ネパ ールル ハルル 0 政府登山 大津昭宣さんより (宮崎 部変更につ 規 崱 11 0 て、 連 部

13 ワ 富国生 í 2 命 0 か 寄付 5 山 川 0 環境ネ ")

絡があっ

た。

つ た。 1 自 1然保護委員会の ワ 2 30万円 0 Щ 寄付 0 環境 が あ ネ

14 島 々谷徳本峠登山道復 ÍĤ 宮

道 が9月29日より 信濃支部より島 通行 4 谷徳本峠 可 能 に な 登 Ш 0

討議された。

10

H

たと 15・会報10月号の の報告を受けた。 編集報告 神

16 職 員 事務局職員募集 0 退職に伴 13 職員の 募集を

> する(人員 10月号) とJAC 1名)。 募集要項は会報 ホー L ~ 1 33

> > 催

に掲載する

ħ 17 フ た の最新地形図を図書室に寄贈さ 中村保会員よりビンソン 7

18 • その 他

に配布) 役員名簿発 行。 $\widehat{10}$ 月 10 日 理 事

19 月2日 審査委員長に中 第2回 韓国山岳雑誌 の賞授与 アジ ア黄金 一式には: 村保会員 『人と山 0 神崎副会 E (が就任。 " 主催 ケ

20 長 11 が挨拶する 図書室浸水事故発生 0 経緯

見つ 2号室) H 本ハ 9 か **月**28日、 り、 ウ が ジン 原 因と判明。 図書室の床に浸水が グと修復の交渉を 査 の結果 一隣室 管理会社 10

18.委員会報告

ていく。

会の 委員会、 指導委員会、 担当 青年部 理 事よ n 海外委員会、 学生部指 現状報告が 導委員 科学 あ

19 月号に報告 9 月度入会者14 名 (会報 Щi

行 10月16日 事予定 名誉会員を囲 む会開

> 丛

2 日 3 H H 义 総務委員会 務理 書委員会 " 岳 チ 地 事会 クラ 理 クラ 集会委員会 7 ブ ル 18 イン 0 ス

H H H 学生部 7 麗 7 ル Ш ル 18 会 18 インスキ 1 ンス ケ 1 " ク チ ラ ク ブ ラ

9 5 4

0

会

1

1

導委員会 事 会 Ш 想俱 楽部 休 Ш

自然学研究会 オトビデオク ラ ブ Ш 0

12 日 11 日

16

H

研

運営委員会

イン

A

1

入会員オリエン テ

文部科学省の 実 地 検

ショ

10

月

20

H

10

月23日

査 10 月 27 H 議 員

10 年記念祝賀会 11 月3~ 月 29 日 4 H 上半 -期監事監査 広島支部設立 10

11 月 14 H 11 月 度 理 事会

0月

図書受入報告 (2007年10月) 名 * 著 者 山崎幸和(編) 写真でみる高頭祭のあゆみ むさしの・多摩・ハバロフスケ協会(編)シベリア大自然-知られざる山河とタイガの植林 知識ゼロからの山歩き入門 小倉董子 日本における山と人間の関係史年表(草稿) 渡辺陸 A.ママリー(著)海津正彦(訳) アルプス・コーカサス登攀記 ―ヒマラヤの谷に生きる人々 貞兼綾子 風の記憶-中垣淑子(著)暮しの手帖社(編) 山を歩く バリエーションルートを楽しむ――魅力の100コース 松浦隆康 雪の住処40年の記録 山森欣一(編) 伊東満(編) 日本ヒマラヤ協会機関誌「ヒマラヤ」総索引 No.1-425 日本ヒマラヤ協会機関誌「ヒマラヤ」表紙目録 No.1-425 伊東満(編) 至宝の大自然 屋久島 源流を求めて 太田五雄 山本紀夫(編) アンデス高地 Climbing Everest HPS Ahluwalia J.Harlin III & K.Cordes (eds.) The American Alpine Journal 2007 (Vol.49, Issu.81)

ページ・サイズ 出版元 刊行年 寄贈/購入別 日本山岳会越後支部 2007 発行者寄贈 63pp/21cm 295pp/21cm 東京新聞出版局 2007 出版社寄贈 159pp/22cm 出版社寄贈 幻冬舎 2007 渡辺陸(私家版) 607pp/26cm 著者寄贈 2007 357pp/22cm 東京新聞出版局 2007 出版社寄贈 270pp/20cm 2007 著者寄贈 春秋社 著者寄贈 中垣淑子(私家版) 274pp/21cm 2007 304pp/21cm 新ハイキング社 出版社寄贈 2007 日本ヒマラヤ協会 発行者寄贈 69pp/27cm 2007 日本ヒマラヤ協会 発行者寄贈 158pp/27cm 2007 62pp/21x30cm 日本ヒマラヤ協会 発行者寄贈 2007 南方新社 221pp/29cm 2007 著者寄贈 624pp22cm 京都大学学術出版会 2007 著者寄贈 72pp21cm Vikas Pub. House 1976 大橋晋氏寄贈 発行者寄贈 847pp/25cm AAC Press 2007

ネット インスキー

小委員会

T

18 き

M

クラブ

10 ル

30日 24 日 23 日 22 日 20 日 18 日 17 日 19 Ħ 高尾の森づくり実行委員会 図書委員会 自然保護委員会 資料映像委員会 三水会 わり会 指導委員会 千葉支部 総務委員会 新入会員オリエンテーション キークラブ 総務委員会 科学委員会 つくも会 00会 会報委員会 山遊会 図書管理委員 緑爽会 アルパインス 麗 山会

スキー懇親会のご案内 集会委員会

場所 日時 懇親会を次の日程で開催します。 毎冬恒例の集会委員会のスキー 野沢温泉スキー場 08年1月12日出~14日月

集合 費用 宿泊 2万3000円 現地集合・解散 ロッヂ「ウエノスキー」 通信費等) (宿泊 保

定員 045-782-8712 30 名 12月14日までに出またはメ - ルで山崎浩子まで

第4回 「山岳書を読む会」

渡辺義

郎

 $\frac{1}{2}$ 7871 品川俊人

7057

終身会員 松井利夫

宮崎紘

(5751)

退会

伊藤昌彦

古賀康義

07

1

8

29 23

⊠y-hiro@fa3.so-net.ne.jp

物故

会員異動

10月

10月来室者610名

場所 日時 演者 箕岡三穂 11 岳会104号室 月29日休18時~ 19時30分 新土曜会

『秘境ブー

タン』(中尾佐助

書を受け取ってください。

ンフォメーション 影したスライドを多数供覧します 学山岳部ブータン学術遠征隊の撮 *参加申込み・参加費不要 *当日は、 1985年浜松医科大

日本山岳会会員は料金割引き MーURAベースキャンプ

所のキャッチフレーズです。 当会事務局に申し込んで会員証明 者は受付で会員証を提示するか、 率は10㍍。12月から実施で、 や睡眠の要領が会得できる」 験し、高山病対策として「呼吸法 態で身体がどうなるか前もって体 引きの便宜を図ります。 スキャンプ(三浦豪太所長、 渋谷区千駄ヶ谷) トレーニング」のMIURAベー 標高6000㎞までの低酸素状 当会では「高所テストと低酸素 利用者に会員割 東京・ 」が同 割引

【ヒマラヤの山旅】 【ニュージーランドの山旅】 【フロンティアの山旅】 【日本の山旅】 完成! 2007.10~2008.5









〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海車ビル4階 **☎03-3503-1911** 大阪 ☎06-6444-3033 名古屋 ☎052-581-3211 福岡 ☎092-715-1557 e-mail:info@alpine-tour.com http://www.alpine-tour.com

現在、 なたでも参加できます。 関心をお持ちのJAC会員ならど 子)」「山のトイレ部会(森武昭)」 取り組むネットワーク組織です。 会が活動中です。 登山道部会 山環ネット 「山環ネット」に参加しませんか 「高山植物部会 (宮崎幸博)」の3部 は、 山の環境問題に 山の環境問題に 目然保護委員会 (樋口みな

山環ネット事務局 *申込み・問合せ

富澤克禮まで

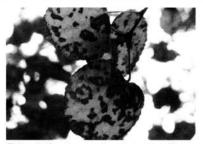
18

さんけん通信

人と自然、それぞれの秋 山研管理人 内野慎一

10月下旬になると、決まって朝9時頃に「雨」 が降ります。ピチャピチャと雨だれの音がテラ スの石を叩き始めます。突然のことにびっくり する方もいるようです。「雨」の正体は屋根の霜 がとけたもの。山研から見て梓川の上流は東の 方向です。夏の間ちょうどその谷間から昇って いた太陽が、だんだん南に寄っていきます。10 月下旬になると日の出からしばらくは六百山に 隠れてしまい、9時頃にようやく日が射し始め ます。それで屋根の霜がとけて「雨」を降らす というわけです。山研の秋の情景です。

体も季節には正直に反応します。今年の9月 は異常なくらい暖かかったのですが、10月に入 って平年並みになりました。9月の連休の頃は 半そでのシャツで歩いている人もいたのに、た った1カ月でダウンジャケットを着る人が多く なりました。急な気温の差に、10月初めは何と なく体が硬くて重い感じでした。寝ている間に も、力が入って筋肉がきゅっとこわばっている



茶色い斑紋が入ってしまったカツラの葉

ような気がしました。温度差に慣れるまでの間、 朝起きた時にどうも体が硬いと感じる日が続き ました。

山荘の中にいる人間の体でさえこんな具合で すから、外の木々はもっと影響を受けていたの でしょう。その結果として全体に黄葉が遅れま した。8月号で予告した「山研ライブカメラ」 の正面のカツラも、残念なことに昨年のような 鮮やかな黄色にはなりませんでした。今年は緑 から黄緑になり、黄色になると同時に茶色い斑 紋が入り、散り始めました。でも、鮮やかに黄 葉しているカツラも多々ありましたので、ちょ っとした環境、条件の違いに大きく左右される ことを痛感しました。でも、近くで見ていて思 ったのですが、茶色い斑紋も葉ごとに形が違っ ていて、和の陶器のような模様でした。日本文 化の「わびとさび」を見るようで、趣があって きれいだなあと思いました。皆さんはどう思わ れるでしょうか。

日本山岳会会報 山 750号

2007年(平成19年) 11月20日発行 発行所 社団法人日本山岳会 **∓102-0081** 東京都千代田区四番町5-4 サンビュウハイツ四番町 TEL 東京(03)3261-4433 東京(03)3261-4441 FAX 発行者 日本山岳会会長 宮下秀樹 編集人 神長幹雄

E-メール:jac-kaiho@jac.or.jp 印 刷 株式会社 双陽社

さに日 はじめ、 る山 きたようなものだと思い 白年史』 ことを痛感しました。 この春出版された 0 迎えました。 今月号で会報 やはり山岳会は て発行されて 岳会の会報として、 本の登山史とともに歩 によると、 多くの方たちの力添 それも著名 100年 山 いたことが 担当編集者を な方たちば 『日本山 が750 正 、ます 0 にある 歴史あ はま えが わ

を2-2-2-601に、 58島 10 月 して訂正します。 入会員14453那須正義→支 田 (7 4 9) 」靖子→ を入れる。 住所2-22 ともにお詫 17 6 1444 0